

短 報

宍道湖グリーンパークにおける ヤマトモンシテムシの記録*

林 成多

Record of *Nicrophorus japonicus* Harold, from Shinjiko Green Park, Izumo, Shimane Prefecture, Japan

Masakazu HAYASHI

ヤマトモンシテムシ *Nicrophorus japonicus* Harold, 1877 は、かつては平地性の普通種とされたが、近年では減少傾向が顕著になってきたことから、環境省第4次レッドリストでは準絶滅危惧と判定され、各府県のレッドデータブックに掲載されるようになった種である(2020年12月時点で23府県:日本のレッドデータ検索システム)。減少の原因としては、モンシテムシ類の生態からみて、平地における生息環境および餌資源の減少が関係しているとみられる。

島根県内では斐伊川水系で行われた河川水辺の国勢調査や出雲市での記録がある(林, 2011; 林・松田, 2014)。島根県版のレッドデータブックにおいても、情報不足として掲載されている(島根県, 2014)。

2020年8月23日に宍道湖グリーンパーク園内のホシザキ野生生物研究所に設置した灯火下の回収用バケツに本種が1個体捕獲された(図1)。8月の1カ月間観察したが、この1個体のみであったことから、当地では希少な種であると考えられる。グリーンパークにおいては初記録である。

[文献]

林 成多 (2011) ホシザキグリーン財団研究報告 特別号, (4): 1-161.

林 成多・松田隆嗣 (2014) ホシザキグリーン財団研究報告, (17): 263-284.

島根県 (2014) 「改訂しまねレッドデータブック 動物編 2014」.

日本のレッドデータ検索システム, <http://jpnrdp.com/index.html>

(ホシザキグリーン財団)



図1 ヤマトモンシテムシ。ホシザキ野生生物研究所に設置した灯火の回収バケツにて。